

ほっとたいむ

第24号
2017.秋



今回は、絵本作家・林明子さんの絵本を紹介します。いくつもの賞を受賞されていて、海外でも多くの作品が翻訳されており、出版されている絵本はたくさんありますが、その中から何冊か選んでみました。

A 福音館あかちゃんの絵本＝くつつあるけのほん＝

1、「くつつあるけ」2、「おててがでたよ」3、「きゅっきゅきゅきゅ」4、「おつきさまこんばんは」

赤ちゃん向けに出版されている4冊の絵本です。リズムカルな言葉とはっきりとした絵と色で、赤ちゃんが楽しめる絵本です。大きさも小さめなので、手にも取りやすいでしょう。



B 「もりのかくれんぼう」末吉暁子作・林明子絵 偕成社



ケイコは、かくれんぼが大好きな女の子です。秋の森の中で、森のかくれん坊や動物達とかくれんぼをすることになりました。動物達がかくし絵で描かれているので、どこにいるのか見つけていく楽しさがある絵本です。

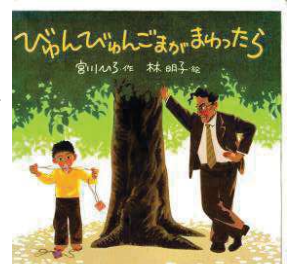
C 「きょうはなんのひ？」瀬田貞二作・林明子絵 福音館書店

朝、小学校へ行くまみこは、おかあさんに手紙を残していきます。そして、10枚の手紙をそろえてみると…「きょうはなんの日？」まみこのおとうさん・おかあさんへの思いが伝わってくるようです。



D 「びゅんびゅんごまがまわったら」宮川ひろ作 林明子絵

新しい校長先生は、手も足も使って4つの「びゅんびゅんごま」をじょうずにまわします。その校長先生に、2年生になったばかりの子ども達が挑戦します。ちょっと長めのお話ですが、次々と物語が進んでいくので、楽しんで読んでいけるとと思います。(童心社)



なすしおばら市 ファミリーサポートセンター

〒329-2754 那須塩原市西大和 6-2

TEL/FAX 0287-47-6252

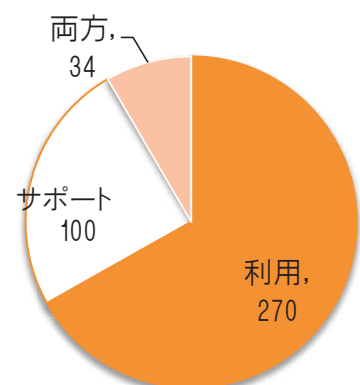
開所時間 月～金 8:00～18:00

土 8:00～12:00

E-mail: hotnet.famisapo@eco.ocn.ne.jp

HP アドレス <http://hotnetfamisapo.com>

那須塩原市ファミリーサポートセンターは、「NPO 法人 子育てほっとねっと」が市の委託を受けて運営しています



H29.9.30 現在の会員数 404人

8月は・・・会員の佐々木さんを講師に迎え、参加者宅で採れた新鮮なきゅうりを提供していただき、おいしいきゅうちゃん漬けを作りました♪ 今年なきゅうりの季節は終わりましたが、来年の夏には是非作ってみて下さい。ご飯が進むこと間違いなしです。



☆材料 きゅうり 10本

・調味料—醤油 180cc みりん 70cc 酢大匙 3

昆布 5～10cm 生姜ひとかけ だしの素少々

辛いのが好きな方は鷹の爪を刻んで入れても♪

☆作り方 ①生姜は千切り ②昆布は細切り ③

調味料を全部合わせ鍋に入れ沸騰させておく。

④きゅうりを洗いへたを取る。 ⑤きゅうりを長いままゆでる。(沸騰したらOK。長く煮ない) ⑥ゆでた

きゅうりをざるに上げ、水をかけずに熱いうちに乱切りに。 ⑦③で沸騰させておいた調味料の中に乱切りした順にきゅうりを入れる。

⑧もう一度鍋を火にかけて沸騰したら火を止める。

⑨時々漬け汁をからませながら冷めるまで置いて出来上がり(^◇^)

(徐々にきゅうりから水分が出て全体が浸ってきます。)常備食としてしばらく保存できます。

9月は・・・会員の渡邊小夜子さんとお仲間が、初心者でも楽しめるフラを教えてくださいました。



色とりどりの衣装、レイや髪飾りもたくさん♪お気に入りの衣装をまもって練習スタートです。「右→左→右→左と体重移動すればいいのよ～」と先生は簡単におっしゃいますが、手の動きと足の動きが違って・・・(;´ω´) 良い脳トレになりました。丁寧な指導で1時間ゆっくり踊ったら、何とか一曲踊れるようになりました！笑顔の素敵な講師による模範演技にも、とても癒されたひと時でした。

茶話会では、今話題の「子ども食堂」や、サポートの話で盛り上がりました。

交流会 報告

10月9日、横林の畑にて「里芋掘り体験で交流会」を行いました。



里芋の葉っぱは水をはじくよ！



土の中で里芋がどのように育つか説明を聞いた後、芋ほり開始！掘った後は、めったにできない、川での芋洗いも体験。子どもたちはいつの間にかきれいな川で遊んでいました。昼食には里芋がたくさん入ったけんちん汁を用意し、大人も子どももおかわりして大満足。お天気にも恵まれ、里芋をお土産にいただき、笑顔いっぱいの体験交流会になりました。



川の流れで芋洗い





注意！最近多い事故事例

～駐車場で子どもが急にドアを開け、隣の車にぶつかってしまった～

一般財団法人 女性労働協会発行 ファミリーサポートネットワーク通信 vol.47 より

今年に入ってから近年になく頻発している事故が見受けられます。具体的には、サポート会員の自家用車での子どもの送迎時、駐車場でサポート会員が指示するまで、ドアの開閉をしないように命じたにも関わらず、子どもが勝手に開けてしまい隣に駐車していた車のドアを傷つけたという事故事例です。件数をみると昨年までの5年間ではせいぜい1件程度のものでしたが、今年は報告だけで既に5件発生しています。ファミリー・サポート・センター事業としては異常な件数だといえます。

これらの事故は、利用会員の子どもが第三者への財物(隣の車のドア)を破損させることを防ぐことができなかったという点において、サポート会員の管理監督者としての賠償責任にあたるわけですが、被害額が何十万もかかるのが普通です。また、サポート会員の車が同時に傷がついたとしても保険の対象にはならずお見舞金しか出ません。子どもとサポート会員の命に係わるレベルに至らないのが幸いですが、被害額が大きいため、サポート会員、利用会員、アドバイザーにとって、起こしたくない事故であるのは間違いありません。

このような事故は、子どもの不安定行動から起こる事故ですので、車外に親、友達、知り合いを見つけると反射的に出たいという気持ちばかりになり、なかなか防ぐことが難しい面もありますが、①必ずロックをかけて子どもが開けるまで時間をかけるようにする。②車の送迎を依頼されている子どもの保護者(利用会員)にも周知し、日頃からしつけ習慣の一環としてもらう等、出来ることを実施して事故防止に努めてくださるようお願いいたします。

サポート会員になって

私は20歳・18歳・16歳の子育て中の母です。子ども達が幼少の頃は、日中は私が子ども達をみて、夕方になると、おばあちゃんに子ども達を預けて夕飯の準備をしました。

お風呂はおじいちゃんの担当で、私はバスタオルを抱えて待っていれば良かったのです。家族みんなの協力を得て、子育て出来た事がとても幸せだったと思います。今サポーターになって、子育て真っ最中、頑張っているお母さんの力に少しでもなれたことが嬉しいです。先頃、二歳児のサポートをさせていただきました。眠くて泣いているので負ぶって寝かせ、布団にそーと寝かせると目が覚めてしまいました。なんて懐かしい～！昔こんな感じ



で私を悩ませた娘を思い出しました。夜も、なかなか寝てくれなくて、イライラしていた自分がいました。早く寝かしつけて、自分の時間を作ろうとしていたのですが上手くいきませんでした。子どもの成長とともに母として成長した今の自分なら、大きな気持ちで子どもをサポート出来ると感じました。これからも、サポートを通して、どんどん成長していきたいと思います。



サポート会員 熊久保光子

サポート会員のためのサロン

今後の予定

予定表にチェックしてね♪

①指編みをしてみませんか



これからの季節のお楽しみ

サポートでも使えます♪

時間があれば腕編みにも挑戦！

太めの毛糸と綴じ針があればお持ちください

11月15日(水) 13:00～15:00

西那須野公民館にて

②クリスマスを彩る

クッキー作り☆



みんなで作って食べましょう！

12月6日(水) 10:00～12:00

厚崎公民館 調理室にて



※サロンはサポート会員・両方会員が対象です。準備の都合上お申込みいただけると助かります。

利用会員・サポート会員・両方会員のための

新春！交流会

お正月遊びと音楽鑑賞♪



1月6日(土) 13:30～15:30

稲村公民館(黒磯)にて

申込み締切 12月25日

演奏はファミリープラスバンド
『マムソウル』のみなさんです

「お正月遊びを体験しながら、駄菓子のお買い物というお楽しみが用意されていて、子ども達が積極的に参加できるプログラムになっているのがすごいと思いました。」～昨年参加された方の感想より～

センターからのお知らせ

- 市役所保育課より、サポート中に弾道ミサイル落下の危険がある時の行動についてお知らせがありました。詳しくは別紙をご覧ください。
- サロンなどの行事をお知らせするメールの配信を始めます。ご希望の方はファミサポのメールアドレスに、お名前と会員番号、「お知らせ希望」と書いてメールを送って下さい。
- 事前打ち合わせ(マッチング)の時に、お茶やお菓子などのお気遣いは不要です。
- センターに連絡のないサポートは保険の対象外です。会員同士で決めたサポートも、必ずセンターにご連絡下さい。



ボランティアスタッフ 大募集！

来年の交流会を
一緒に企画しませんか？
お気軽にご連絡下さい♪